

# 愛知県トラック総合会館

Aichi Prefecture Truck General Office

No. 08-008-2025作成  
新築  
事務所

|       |   |  |  |
|-------|---|--|--|
| 発注者   | 一般社団法人 愛知県トラック協会  | カテゴリー                                      | A. 環境配慮デザイン B. 省エネ・省CO2技術 C. 各種制度活用 D. 評価技術/FB |
| 設計・監理 | 五洋建設株式会社本社一級建築士事務所<br>PENTA-OCEAN CONSTRUCTION CO.,LTD. | E. リニューアル F. 長寿命化 G. 建物基本性能確保 H. 生産・施工との連携 |  |
| 施工    | 五洋建設株式会社名古屋支店   | I. 周辺・地域への配慮 J. 生物多様性 K. その他               |  |

## サステナブルな災害対策拠点として、物流の未来と地域を支える新会館

### 計画概要

本施設は、一般社団法人愛知県トラック協会の新会館として計画された。旧会館は老朽化に伴う維持管理の課題に加え、将来発生が予想される大規模災害時におけるBCP機能強化が喫緊の課題となっていた。新会館は、カーボンニュートラルを見据えたZEB仕様で計画するとともに、緊急時に行政と連携して地域貢献を果たすことができる既存施設の建替え計画として整備された。事務所棟と駐車場の2棟で構成されている。2棟は連絡通路で連携し、災害時は事務所棟が災害対策拠点、駐車場棟が災害物資保管スペースとして機能する。

外観は縦ラインを強調したデザインで構成し、トラック協会の社会に開かれた躍動感ある活動イメージを表出した。内観は利用者の快適性を重視し、木調デザインを基調とした明るく開放的でくつろぎを感じる空間を計画した。

日本の中心で日本の物流を支える愛知県トラック協会のシンボルとして、BCP機能・環境対策・長寿命化・快適性を兼ね備えた地域を支えるサステナブルな災害対策拠点が実現した。

### 災害対策拠点 (BCP)

災害時における事業継続に加え、行政と連携して迅速な復旧支援を実現するため、主に以下3つのBCPを実現している。

- 地震対策：事務所棟に免震構造を採用し、駐車場棟は1.25倍の耐震性能を確保。施設全体として高いレジリエンスを確保した。
- 水害対策：災害時の活動拠点となる災害対策室などを5階、主要設備機器を屋上に設置することで漏水時も施設を継続利用可能な計画とした。その他歩行者へのガラス飛散防止対策や、免震ピット内への浸水対策も講じている。
- 災害応急対策：災害対策室に衛星電話を設置し、行政など複数の連絡手段を確保した。太陽光発電システムと蓄電池、非常用発電機を組み合わせ、停電時に一部設備へ72時間以上の継続電力供給を可能とした。その他、備蓄倉庫、災害物資置場、防災無線、防災タワー、防災井戸、マンホールトイレ、防災用水（受水槽）等を整備し、災害時に効率的な支援活動を行える施設となっている。



環境技術断面

### 環境配慮設計

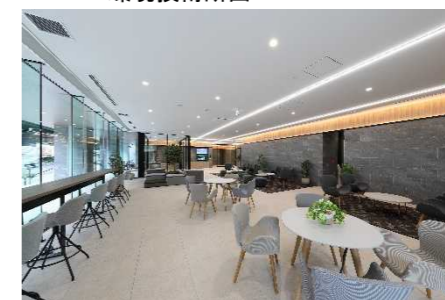
本施設は ZEB Ready 認証を取得し、建物全体でエネルギー消費量を67%削減した。その実現に向け、外壁高断熱仕様と樹脂製サッシ、真空ガラス、Low-E複層ガラスを採用し、建物の断熱性能を向上させた。さらに、自然採光、自然通風を積極的に活用。また、外壁縦ルーバーや角度変化型ブラインドの採用により日射負荷と照明負荷低減を実現している。設備面では、LED照明や超高効率空調機、人感センサーによる省エネ制御システムを導入し、夜間にはナイトパーズ換気を行うことで冷房負荷を抑制している。

### 健康と快適性に配慮した施設計画

共用部に自然な会話や交流を促す空間を配置。天井高さの確保や良好な暗騒音環境、健康に配慮した什器計画など、快適で働きやすい職場環境を整備して中長期的な保全計画も策定した結果、CASBEEスマートウェルネスオフィス ランクAを取得した。

### 設計担当者

統括：奥田任／建築：宮本暢明、磯貝和美  
構造：鎌野賢吾、庄子恭史／設備：小池武徳、山手健史、高橋秀之  
監理：金津文夫、越山幸治



ラウンジ



事務室



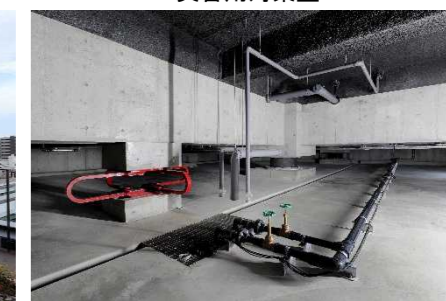
太陽光パネル・蓄電池



災害用対策室



屋上緑化

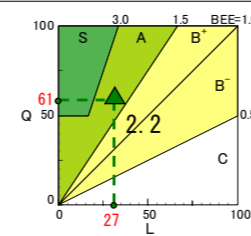


免震ピット

|       |                     |
|-------|---------------------|
| 建物データ |                     |
| 所在地   | 愛知県名古屋市             |
| 竣工年   | 2024年               |
| 敷地面積  | 2,225㎡              |
| 延床面積  | 8,444㎡              |
| 構造    | 事務所棟:S造、駐車場棟:S造     |
| 階数    | 事務所棟:地上6階、駐車場棟:地上5階 |

|              |       |
|--------------|-------|
| 省エネルギー性能     |       |
| BEI (通常の計算法) | 0.33  |
| BELS         | ★★★★★ |
| ZEB Ready    |       |

|                  |  |
|------------------|--|
| CASBEE評価         |  |
| Aランク             |  |
| BEE=2.2          |  |
| 2016年度版<br>第三者認証 |  |



### 主要な採用技術 (CASBEE準拠)

- Q2. 2. 耐用性・信頼性 (高い耐震性能、設備BCP対応)
- LR1. 1. 建物外皮の熱負荷抑制 (Low-E複層ガラス、断熱、ブラインド)
- LR1. 2. 自然エネルギー利用 (太陽光発電)
- LR1. 3. 設備システムの高効率化 (高効率空調機、全熱交換機、LED照明)
- LR2. 1. 水資源保護 (節水型機器)
- LR3. 3. 周辺環境への配慮 (安全を配慮した計画)